平成25年11月27日
北海道旅客鉄道株式会社

冬季期間における節電の取り組みについて

当社では、国の決定等を踏まえ、公共交通機関としてお客様の安全と利便に配慮した上で、節電に取り組みます。

ご利用のお客様には、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 期間と時間帯について

12月1日(日)～3月31日(月) 終日

注 上記期間の開始以前から継続している取り組みもあります

2. 列車の運行について

列車本数を削減することなく、通常どおり運行します。

3. 今冬の主な取り組み

(1) 平常時の取り組み

○自動券売機は、3台以上設置されている駅の一部を一時的に停止します。

○駅のLED化を進めます。

○今年度から札幌圏へ投入する新型通勤電車(733系)は、室内灯にLEDを導入します。

○社員に生活の中での身近な節電を呼びかけます。

(2) 電力需給ひっ迫時の取り組み

○苗穂工場で使用する電力の一部について、北海道電力(株)と通告調整契約を締結し、節電に取り組みます。

○オフィス部門で、一時的な更なる減灯やOA機器の停止を行います。

4. 目標

今冬の新たな取り組みと、これまで継続してきた取り組みにより、以下を目標とします。

○平常時、列車の安定的な運行及びお客様の安全と利便を確保したうえで、昨年度の使用電力量を基準とし、その水準よりも抑制することを目指します。

○電力需給ひっ迫時、通告調整契約等の実施により、追加的な節電を行います。

<参考>これまで節電要請期間以外も継続してきた取り組み

(1) 駅

○コンコース等では、一部の照明を減灯します。

○ホームでは、減灯しても十分な明るさを確保できる一部の駅で、照明を減灯します。

※お客様の利便を確保するため、

・案内サインは点灯を継続します。

・エレベーター、エスカレーターは原則稼働します。

(2) 電車内

○減灯しても十分な明るさを確保できる一部の電車で、室内灯を間引くことにより減灯します。

※空調は、お客様の体調等への影響を考慮し、適切に管理します。

(3) オフィス等

○各職場での照明の減灯や適切な空調の管理などに取り組みます。

○執務室等のLED化をさらに進めます。

○きめ細かなOA機器等の入切を実施するとともに、ノートPCの電源管理機能を活用したピークシフトに取り組みます。